

- 議長（河野） 2番、三好和幸君。
- 2番（三好和） はい、議長。
- 議長（河野） 三好君。
- 2番（三好和） はい、2番、三好和幸です。
- 2番（三好和） 2番、日本共産党、三好和幸です。

綾川町の地域医療を問います。

地域の医療の状況は、医師や看護師の不足、特に医療資源の逼迫が大きな課題だと言われております。医療機能の分化・連携を進める構想により医療体制の整備が進められるが、地域差も生じています。

今年になって、日本病院会など病院6団体から「このままでは、ある日突然、病院がなくなります」という訴えが各界に衝撃を与えているという報道がありました。国が決める診療報酬が、物価高も賃金上昇にも、まともに反映せず低く抑えられているために、急激に病院の経営悪化が進み、診療科の休止、入院患者の受け入れの制限、救急医療の廃止などの事態が全国に広がっています。ボーナスカットや賃下げを受けた医療従事者の大量離職も起こり、日本の医療は崩壊の瀬戸際にあると伝えられておりました。

この緊急事態の最中に、政府は、「医療費4兆円の削減」の合意を結び、その第一歩として「11万床の病床削減」計画を打ち出し、地域医療の危機を加速させようとしています。

「余剰ベッドの削減」と言いますが「感染症などの有事に対応するには余力のある医療体制が必要」というコロナ危機の反省をもう忘れたのでしょうか。こんな無反省と非道は絶対に許されるものでありはせん。

我が町の国民健康保険陶病院では、病床は63床と小規模ではありますが、地域包括ケアの拠点として訪問介護ステーション、通所リハビリテーション、老人介護支援センターなど併設して取り組んでおり、2012年には自治体立優良病院として総務大臣の表彰を受け、診療面のほか経営面でも注目されたと聞きました。しかし、近年の総収益の変動は少なく思いますが、純利益を見れば去年は一昨年の3割に下がっています。病院の努力で土曜日も午前中診察をしていると聞きます。昨年一日平均外来患者数は約160人来られています。

全国の自治体の経営する病院の86%が赤字経営との報告がある中、とても頑張っているとは思いますが、町財政からの定額の繰入金を引き上げるなど、町長の今後の展望をお聞きします。

また、今年7月ごろ、暑くなってきたころから、私の周りでも今頃と思いますがコロナに感染した人が急増しているように思います。一昨年の5月8日から新型コロナウイルス感染症は、季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行され、今後は法律に沿った外出自粛の要請はなくなり、感染対策は個人の判断に委ねられることになりました。コロナ感染症の抗ウイルス薬などの公費補助がない現在、患者の自己負担をインフルエ

ンザにおけるタミフルなどと同程度に抑え、経済的負担から接種をあきらめる人が無いよう、またワクチンの有効性・安全性について、新たな知見・エビデンスも含め情報提供を行い町民の疑問について答えること、また、国にも要望してください。

以上、質問いたします。よろしくお願いいたします。

○議長（河野） 前田町長。

○町長（前田） はい、議長。

○議長（河野） 町長。

○町長（前田） はい、議長。

○町長（前田） 質問にお答えをいたします。

陶病院では、新興の感染症が流行したときに対応する医療提供する体制の確保や、病床を急性期病床から回復期病床への機能転換を行い、地域連携室を充実させ、入院受入れや退院支援を行っております。

在宅医療の要となる訪問診療・訪問看護・訪問リハビリステーション等との連携体制を構築し、地域包括ケアの拠点を担う重要な医療機関であります。

また、経営状況では黒字経営を続けておりますが、近年の物価高騰や人事院勧告に伴います人件費の増額等の複合的な要因において病院経営は一段と厳しさを増している状況であります。一般会計からの繰出金だけではなく、企業会計として長期的な持続可能性を確保する観点から、収益構造の変更を軸に、収益の安定化・増加を図るための経営改革を行うことが必要であると考えております。

また、新型コロナウイルスの予防接種については、本年度も10月1日から65歳以上の方と、60歳以上65歳未満で特定の身体障害者手帳1級を所有する方を対象に定期接種を実施いたします。定期接種の対象となる全ての方には、9月下旬に予診票を送付し、同封の説明書には、ワクチンの有効性や安全性について記載をしております。

また、新型コロナウイルスの治療薬については、医療費の公費補助がないため、患者の自己負担が3割の場合、5日分で約1万8,000円から3万円とインフルエンザの治療薬と比べても高額となっておりますが、現時点では治療薬の公費補助については、今は考えておりません。今後の国の動向というのにも注視をしてみたいと思っております。以上、答弁といたします。

○議長（河野） 再質問はございませんか。

○2番（三好和） はい、議長。

○議長（河野） 三好君。

○2番（三好和） はい。それでは1点だけ。現在、今年度の経営状況とか、純利益なんかは分かれば、教えていただけるのでしょうか。

○議長（河野） 辻井陶病院事務長。

○陶病院事務長（辻井） はい、議長。

○議長（河野） 辻井君。

○陶病院事務長（辻井） 三好和幸議員の再質問についてお答えします。今年度、6年度の

純利益につきまして、報告させていただきます。6年度の消費税抜きの純利益ですが、差し引き 1,593 万 3 千円となっております。7年度の予定の純利益の方につきましては、141 万 7 千円を予定しております。今年度7月末現在の純利益につきましては、5,142 万 8 千円の純利益がございます。以上、再質問について答弁いたします。

- 2番（三好和） はい、ありがとうございました。
- 議長（河野） 再々質問はございませんか。
- 2番（三好和） ありません。
- 議長（河野） はい。
- 議長（河野） 以上で、三好君の一般質問を終わります。
- 2番（三好和） ありがとうございました。